

「学び合い 高め合い 認め合い 夢と希望を育む小鹿野小学校」

学校だより

学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子
小鹿野町立小鹿野小学校 第3号 平成29年6月1日発行

風さわやかな5月、と思いきや、夏を思わせるような暑い日があったり、春のはじめの頃のようなやや肌寒い日があったりと体調管理が難しい月でした。加えて、4月末から5月初旬にかけて、時期外れのインフルエンザの流行が有り、保護者の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。

また、5月1日からの家庭訪問ではお忙しい中ご都合をつけていただきありがとうございます。家庭と学校、保護者の皆様と学級担任がバラバラにそれぞれが努力しては大きな教育効果は期待できません。今回の家庭訪問や授業参観・懇談会等、連携の機会をお互いが大切にしながら、子どもたちの「旬」を見逃さないはぐくみを行っていきたくと考えております。

～「勉強は大切」でも「勉強は嫌い」～

さて平成27年度に国立教育政策研究所がおこなった調査の結果に次のようなものがあります。

「教科の勉強は大切か」という質問に対して小学生約90%、中学生約80%の子どもが「大切だ」と答えました。しかし、「教科の勉強が好き」という質問に対しては、「好き」と回答したのは小学生で約70%、中学生で約60%となりました。

当然この結果から、子どもたちは「勉強は大切」と考えながらも目の前の勉強は好きになれない、だから学校でも家庭でも勉強をしないのではないかという状況が推察されます。

勉強をしない状態が続くと、ある時、愕然（がくぜん）とします。授業を聞いていても少しも内容がわからないのです。小学校での基礎基本が身につけていないと、中学校の授業を受けているのは精神的にも身体的にもかなりの苦痛になります。そう感じた時は、もうかなり手遅れの状態になっていることが多いのです。

小鹿野小学校では、子どもの興味・関心や学習した内容の定着を図るために授業の改善、充実を全教員が行っています。小鹿野町内の全ての学校では、「小鹿野町ベース」という、授業の基本スタイルを各学校の教員が確認し、このスタイルをベースに授業を進めていこうと共通行動をとっています。

家庭教育においても、学校・家庭・地域が一体となり、町全体で小鹿野町の子どもたちを育てる取組として「おがの家庭教育宣言」が策定されています。今年度は、西秩父PTA連合会において、この取組をさらに推進していくための方策が実施されます。

各ご家庭においては家庭教育宣言(小鹿野小学校版)をもう一度ご確認いただき、学校と家庭で連携し子どもたちの大きなはぐくみのためにご協力をいただければと考えております。

夢と志をはぐくむ小鹿野教育 おがの家庭教育宣言

小鹿野町立小鹿野小学校
小鹿野町立小鹿野小学校PTA

わたしたちの5つの約束

- 1 親子で生活リズムをつくります
「早寝、早起き、朝ご飯」「ゲームは1時間以内！」
- 2 毎日時間を決めて家庭学習に取り組みます
「学年×10分+10分」 -継続は力なり！-
- 3 家庭で積極的に会話をします
「今日のできごと 親子で会話」 -子供の話は最後まで-
- 4 家庭での役割を持たせます
「各家庭で決めて取り組んでください」
- 5 人を大切にし「人のために」という気持ちを育てます
「温かい 優しい言葉が 言える子に！」